

学 年

2年

【確 率】① 確率の意味 A

年 組 氏名

1 次の文中の に適切な言葉や数をあてはめなさい。

紙ぶくろの中に、あんまんは4個、肉まんは5個入っています。このふくろの中から、1個取り出します。このとき、取り出すのがあんまんである場合と、肉まんである場合では、どちらが起こりやすいといえますか。

この問題を解くためには、紙ぶくろの中から取り出したものが、あんまんである確率と肉まんである ① をそれぞれ求めて、その大小を比べます。
あることがらが起こる確率とは、次のような考え方で求められます。

$$\text{あることがらが起こる確率} = \frac{\text{そのことがらが起こる場合の数}}{\text{起こりうる全ての場合の数}}$$

紙ぶくろの中のものを、1個取り出すときの取り出し方は ② 通りです。

そのうちあんまんは4個なので、あんまんを取り出す取り出し方は ③ 通りです。

したがって、取り出したものがあんまんである確率は、 $\frac{\text{④}}{\text{⑤}}$ となります。

また、肉まんは5個なので、肉まんを取り出す取り出し方は ⑥ 通りです。

したがって、取り出したものが肉まんである確率は、 $\frac{\text{⑦}}{\text{⑧}}$ となります。

2つの確率を比べたときに、取り出すのが ⑨ である場合の方が起こりやすいといえます。

学 年

2年

【確 率】① 確率の意味 A

年 組 氏名

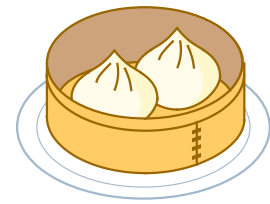
〔Point〕

あることがらのおこりやすさの度合いを表す数を**確率**という。

$$\text{あることがらが起こる確率} = \frac{\text{そのことがらが起こる場合の数}}{\text{起こりうる全ての場合の数}}$$

① 確率 ② 9 ③ 4 ④ 4 ⑤ 9

⑥ 5 ⑦ 5 ⑧ 9 ⑨ 肉まん



この問題を解くためには、紙ぶくろの中から取り出したものが、あんまんである**確率**と肉まんである**確率**をそれぞれ求めて、その大小を比べます。

紙ぶくろの中のものを、1個取り出すときの取り出し方は **9** 通りです。

そのうちあんまんなは4個なので、あんまんを取り出す取り出し方は **4** 通りです。

したがって、取り出したものがあんまんである確率は、 $\frac{\text{4}}{\text{9}}$ となります。

また、肉まんなは5個なので、肉まんを取り出す取り出し方は **5** 通りです。

したがって、取り出したものが肉まんである確率は、 $\frac{\text{5}}{\text{9}}$ となります。

2つの確率を比べたときに、取り出すのが **肉まん** である場合の方が起こりやすいといえます。

学 年

2年

【確 率】① 確率の意味 B

年 組 氏名

- 1 下の表は、右の図のような画びょう1つを1000回まで投げたときの結果を示している。これについて、次の各問いに答えなさい。

上向き

下向き



投げた回数	200	400	600	800	1000
上向きの回数	128	217	350	452	573

- (1) 画びょうが上向きになる確率を求めたい。何回投げたときのデータをもとにすればよろしいですか。

答え _____

- (2) (1)のときの画びょうが上向きになる割合を小数第2位まで求めなさい。

答え _____

- (3) (2)より、画びょうが上向きになる確率を求めなさい。

答え _____

- (4) (3)の確率より、この画びょうを2000回投げたとき、およそ何回上向きになると考えられますか。

答え _____

- (5) 1000回まで投げたとき、この画びょうが下向きになる確率を求めなさい。

答え _____

学 年

2年

【確 率】① 確率の意味 B

年 組 氏名

〔Point〕

- 多数回の実験や観察，多数の調査の結果にもとづいて，あることがらが起こる割合を調べれば，そのことがらの起こりやすさの度合いを数で表すことができる。
- あることがらの起こりやすさの度合いを表す数を，そのことがらが起こる確率という。

1

- (1) 実験の結果が大きいほど信頼がおける。

答え 1000回

$$(2) \quad \frac{573}{1000} = 0.573$$

答え 0.57

- (3) 多数回の実験における結果の割合を，そのことがらが起こる確率と考える。

答え $\frac{573}{1000}$

$$(4) \quad 2000 \times 0.57 = 1140$$

答え およそ1140回

- (5) 1000回投げたときに，下向きになる回数は，

$$1000 - 573 = 427(\text{回})$$

したがって，下向きになる確率は， $\frac{427}{1000}$

答え $\frac{427}{1000}$